

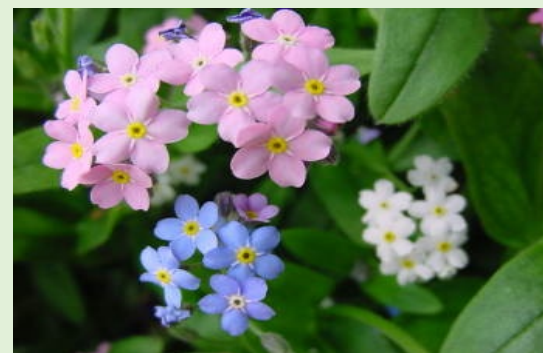
インマヌエル中目黒キリスト教会

2015年7月26日聖日礼拝

「崩壊～雅歌はなぜあるのか」

雅歌1章1節-17節及び8章5節-7節

河村従彦牧師



聖書朗読

旧約聖書

雅歌 1 章 1 節 - 17 節 及び 8 章 5 節 - 7 節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(© 新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp1024 ~ / 第三版の聖書はp1116 ~

1 ソロモンの雅歌

2 あの方が私に口づけしてくださったらよいのに。あなたの愛はぶどう酒よりも快く、

3 あなたの香油のかおりはかぐわしく、あなたの名はそそがれる香油のよう。それで、おとめらはあなたを愛しています。

4 私を引き寄せてください。私たちはあなたのあとから急いでまいります。王は私を奥の間に連れて行かれました。私たちはあなたによって楽しみ喜び、あなたの愛をぶどう酒にまさってほめたたえ、真心からあなたを愛しています。

- 5 エルサレムの娘たち。私はケダルの天幕のように、ソロモンの幕のように、黒いけれども美しい。
- 6 私をご覧にならないでください。私は日に焼けて、黒いのです。私の母の子らが私に向かっていきりたち、私をぶどう畑の見張りに立てたのです。しかし、私は自分のぶどう畑は見張りませんでした。
- 7 私の愛している人。どうか教えてください。どこで羊を飼い、昼の間は、どこでそれを休ませるのですか。あなたの仲間の群れのかたわらで、私はなぜ、顔おおいをつけた女のようにしていなければならないのでしょうか。

- 8 女のなかで最も美しい人よ。あなたがこれを知らないのなら、羊の群れの足跡について行き、羊飼いの住まいのかたわらで、あなたの子やぎを飼いなさい。
- 9 わが愛する者よ。私はあなたをパロの戦車の雌馬になぞらえよう。
- 10 あなたの頬には飾り輪がつき、首には宝石をちりばめた首飾りがつけてあって、美しい。
- 11 私たちは銀をちりばめた金の飾り輪をあなたのために作ろう。
- 12 王がうたげの座に着いておられる間、私のナルドはかおりを放ちました。

- 13 私の愛する方は、私にとっては、この乳房の間に宿る没薬の袋のようです。
- 14 私の愛する方は、私にとっては、エン・ゲディのぶどう畑にあるヘナ樹の花ぶさのようです。
- 15 ああ、わが愛する者。あなたはなんと美しいことよ。なんと美しいことよ。あなたの目は鳩のようだ。
- 16 私の愛する方。あなたはなんと美しく、慕わしい方でしょう。私たちの長いすは青々としています。
- 17 私たちの家の梁は杉の木、そのたるきは糸杉です。

8章

- 5 自分の愛する者に寄りかかって、荒野から上って来るひとはだれでしょう。私はりんごの木の下であなたの目をさまさせた。そこはあなたの母があなたのために産みの苦しみをした所。そこはあなたを産んだ者が産みの苦しみをした所。
- 6 私を封印のようにあなたの心臓の上に、封印のようにあなたの腕につけてください。愛は死のように強く、ねたみはよみのように激しいからです。その炎は火の炎、すさまじい炎です。

7 大水もその愛を消すことができません。洪水も押し流すことができません。もし、人が愛を得ようとして、自分の財産をことごとく与えても、ただのさげすみしか得られません。

説教

「崩壊～雅歌はなぜあるのか」

雅歌1章1節-17節及び8章5-7節

河村従彦師



はじめに

「詩だな 何のことを言っているのだろう」
もう一つの違和感

I 雅歌、難解

A 位置

- 1 ヘブル詩歌
- 2 漠然とした詩の世界

B 登場人物は何人？

- 1 二人説と三人説

2 キャスト

シュラム ~ 羊飼いの青年と愛し合っているが、
ソロモンに見染められる

羊飼いの青年 ~ シュラムを愛するイケメン

ソロモン ~ 栄華を手にした王、シュラムに
一目惚れ

エルサレムの娘たち ~ シュラムの周辺にいた
若い女性たち

シュラムの兄弟 ~ 不詳

ナレーター

C 構成

- | | | |
|----|-------------------|------------|
| 序 | タイトル ~ ナレーター | 1:1 |
| 1 | シュラム、青年へ愛を告白する | 1:2 ~ 7 |
| 2 | ソロモン、シュラムへ愛を告白する | 1:8 ~ 14 |
| 3 | シュラム、青年の愛に応える | 1:15 ~ 2:2 |
| 4 | シュラム、青年への愛を娘たちに語る | 2:3 ~ 3:11 |
| 5 | ソロモン、シュラムへ愛を告白する | 4:1 ~ 15 |
| 6 | 青年、シュラムの愛に応える | 4:16 ~ 5:1 |
| 7 | シュラム、青年への愛を娘たちに語る | 5:2 ~ 6:3 |
| 8 | ソロモン、シュラムへ愛を告白する | 6:4 ~ 7:9 |
| 9 | シュラム、青年の愛に応える | 7:10 ~ 8:7 |
| 10 | 兄弟、シュラムを案じる | 8:8 ~ 10 |
| | 結 しめくり | 8:11 ~ 14 |

D ストーリー

E 解釈

- 1 比喩 ~ 神さまとクリスチャンの関係
- 2 描写 ~ 実際の男女の愛

ルート1 創世記 → 雅歌

F 信仰的な比喩の行き詰まり

II 愛、崩壊

A ホセア書のメッセージ ~ ホセアの苦悩

B あがないへの目線

ルート2 創世記 → 雅歌 → ホセア書

ルート3 創世記 → 雅歌 → キリストとわたし ×

ルート4 創世記 → 雅歌 → ホセア書 →
イエス → キリストとわたし

C 裏切りの二種類

1 ゴメル型 ~ わかりやすい

2 ソロモン型 ~ わかりにくい

D みことばからの示唆

1 雅歌が示唆していること ~ 溢れる愛

2 ホセア書が示唆していること
~ 裏切るほど明らかにされる愛

E 愛とは発する

1 にもかかわらず愛される愛

2 にもかかわらず愛する愛

F 三種類の愛

エロス ~ 奪う

フィレオ ~ 双方向

アガペー ~ 発する

II 愛、再考

A 神さまの愛についての微妙な思い違い

- 1 受け取るわたしたちに何か良いことがあったから愛された
- 2 その愛に誠実に応答しなければ、神さまの愛はなくなってしまう
- 3 クリスマンは愛に生きるべきである

B 愛は裏切り

- 1 愛と取り引き
- 2 誠実に応答できなければできないほど

C プロセス

- 1 始まり ~ 愛は発せられる
- 2 結果 ~ 愛された側に委ねられる
- 3 完成 ~ 愛は、受け取り方を手放す

D 愛の不足

- 1 行動で愛せよ
- 2 クリスマスは愛に生きる
- 3 愛は人間関係作りの発展途上

E まとめ

- 1 愛ではなく忍耐が足りない
- 2 愛すべきという問題ではない
- 3 愛は結果を手放すこと ~ 小さなことでも愛
- 4 こちらは愛が足りなくても主の愛に応答してよい

しめくりに

「神さまは愛」